

2024年6月11日木曜日 10時30分～11時30分

令和6年6月度 理事会

出席理事：川口、空田、小林、林田、富田、山縣、福井、古谷、福本

オブザーバー：合田（監事；直前理事長）

開催方法：zoomによるリモート

議題

1. 令和6年5月末収支について

- 今月の事業収入は約285万、5月末までの対前年比では約83万の増となった。一方支出は約478万となり、損益は単月では約-49万、累計で約-12万となった。先月の理事会で予想したとおりマイナス収支になったものの、対前年比では約60万のプラスとなった。
- 昨年度後半の人員減と租税公課減により、赤字幅は少なくて済んだものの、修繕件数は依然として減少傾向にあり、今後の収支に関しても予断を許さない状況である。

2. その他

- 下関市水道サービス公社解散（2026年3月31日）に伴い、これまで行ってきた漏水調査の民間で受ける場合の有料化等についての1回目の協議が行われた。これまでの市民サービスが大きく変わる影響や組合の役割等予想される様々な問題点や今後の対応を含め、引き続き協議を続けていく。
- 役員改選に伴い、委員会組織の変更あり。総務企画委員会の委員長に富田氏、副委員長に福井氏が、上下水道委員会の委員長に山縣氏、副委員長に古谷氏が就任した。尚、合田燃料機器は上下水道委員会、林田設備は総務企画委員会の所属となり、特に希望がなければ他の組合員の委員会は移動なしとする。
- 前年度より検討してきた電力の自然エネルギー化について、現状の料金よりも安価（試算では現状より年間約3万円弱安くなる）になり、安定供給の観点も含めコスモでんきへ切り替えることが決定した。

- 水道当番として、新たに大上設備が参画することとなり、入る時期や順番等の検討が行われ、基本的に7月からの参加を軸に調整を進めていく。

- (監事より)

電力の再エネ100%達成に伴い、やまぐち再エネ事業者認定(100%)の申請と、合わせて現在使用しているLPガスのカーボンオフセット化を提案。2050年カーボンニュートラルに向け、事業所内で発生するCO₂ゼロを達成するのはおそらく日本初ではないかと思われ、そのことをプレス発表すべきと提言。組合自体が率先して行うことで、後に続こうとする組合員に対してアドバイスし易くなることも大きいと思われる。決して難しいことではないので、是非進めて欲しいとお願いし、特に反対意見は無かった。

以上